

やりたいことから参照できる  
WebClassの使い方  
[ユーザーズマニュアル]

v11(Sep. 2023)

# 資料の内容(1)



☆よく利用する項目

# 資料の内容(2)



☆よく利用する項目

# 資料の内容(3)



# 0.準備 コースリストの外観

The screenshot shows the WebClass interface with the following components and annotations:

- WebClass**: The main header of the application.
- コース**: A dropdown menu for selecting a course.
- コースリストの再読み込み**: A button to refresh the course list.
- お知らせ・メッセージ画面へ**: A button to navigate to the announcement and message screen.
- アカウントの情報の変更など**: A button to change account information.
- ログアウト**: A button to log out.
- 管理者からのお知らせ**: A section for announcements from administrators.
- 最新5件 (全 1 件)**: A link to view the latest 5 items (all 1 item).
- 停電のお知らせ**: A link to view the announcement about the power outage.
- システム管理者 - 02/23**: The name and date of the system administrator.
- お知らせ一覧**: A link to view all announcements.
- 参加しているコース**: A section for courses the user is participating in.
- 表示する学期**: A dropdown menu to select the semester to display.
- 2020**: The selected semester.
- 前期**: The selected semester.
- 表示されている時間割の年度や学期を変更**: A button to change the academic year or semester of the displayed timetable.
- 時間割表**: A table showing the timetable.
- 授業をクリックするとコース(授業)に移動**: A button to click on a lecture to move to the course (lecture).
- [お知らせやメッセージ]**: A section for announcements and messages.
- WebClassに関するお知らせや学生とのやりとりを行うことができる。**: A message stating that users can view announcements and interact with students.
- アカウント情報を設定すればメッセージが届いたことを外部のメールアカウントに通知することができる。**: A message stating that users can set up their account information to receive notifications via an external email account.

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限						
2限				<a href="#">Japanese Language First Level</a>		
3限		<a href="#">ネットワーク講習会(デモ)</a> <a href="#">新着メッセージ(2)</a> 今年初めてアカウントを取る人のための講座です。				
4限			<a href="#">プログラミング入門</a>			
5限						
6限						
7限						

# 0.準備 コースの表示(Windowの横幅が十分に広い時)

The screenshot displays the WebClass interface for course management. The top navigation bar includes links for 'コースリストへ' (to course list), 'コースの再読み込み' (refresh course), and 'コースメニュー' (course menu). The main content area is divided into a 'タイムライン' (Timeline) on the left and a '教材エリア' (Material Area) on the right. The Timeline shows a list of materials with dates, and the Material Area shows a list of materials with details like '更新' (update) and '実行者数' (number of executors). Callouts highlight specific features: '教材作成ボタン' (Material Creation Button), '教材の並び替え・ラベル設定' (Material Reorder/Label Setting), 'ラベルや定型文などの情報' (Information like labels and templates), and '簡易教材作成ボタン' (Simple Material Creation Button). A red box highlights the '教材エリア' (Material Area).

**コースリストへ**

**コースの再読み込み**

**コースメニュー**

**タイムラインの再読み込み**

**教材作成ボタン**

**教材の並び替え・ラベル設定**

**ラベルや定型文などの情報**

**簡易教材作成ボタン**

**教材エリア**

**[タイムライン]**

WebClassの特徴のひとつ、授業中に質問を受けたり、手軽に授業中に資料を配布したりすることができる。

資料の配布やレポート課題が時系列に表示されるので「今やるべきこと」がわかりやすい。

古い課題や資料は、下に表示される。課題が増えたら教材エリアで教材を整理するとわかりやすい。

**[教材を作成する]**

WebClassの全ての機能を使って教材を作成する画面に移動する。凝った教材や資料を作成する場合はこちらを使う。

**[簡易教材作成ボタン]**

少ないステップで教材を作成できる画面に移動します。タイムラインと連動しているので、授業内で突然思いついた場合でも課題を出すことができる。

# 1.資料の配付

## できること

- 授業中に説明するテキストや資料を配付
- 事前学習用にも利用可能

## 長所

- 紙資料の煩わしさから解放される
  - ・ 前回欠席した学生のために紙の資料を運んだり、保管しておく必要がない
- 再利用が可能
- Web情報や動画資料も作成できる
- 閲覧履歴が確認できる
  - ・ 学生が資料を見ているのかどうか追跡できる

事前に作成した資料を配布する場合は、PDFに変換してからアップロードする方法がおすすめ。

# 1-1.ファイル1つを配布(1) タイムラインからダウンロード

## 操作手順

1. 【簡易教材作成】ボタン→【書き込み】タブに進み、「テキスト/URL」に必要なメッセージを入力
2. 【ファイルを選択】ボタン→配布したいファイルを選択
3. 【送信】ボタンをクリック

## 長所

- 手順が簡単
- 最新のものがタイムラインの先頭に表示されるので学生からみて判りやすい

タイムラインから利用履歴は参照できない。

[ファイルを選択]ボタン

### タイムライン

タイムライン

学生の書き込みを許可  
ON

書き込み 教材の作成

まず、この資料を見てください。

ここにメッセージを入力

ファイル/画像  
ファイルを選択 第3回資料.pdf

送信

[送信]ボタン

送信するとタイムラインにメッセージと資料をダウンロードできるリンクが表示される。

### タイムライン

タイムライン

まず、この資料を見てください。  
[第3回資料.pdf](#)  
11:38

» さらに過去の記録を取得



# 1-1.ファイル1つを配布(2) タイムラインから簡易資料作成

## 操作手順

1. 【簡易教材作成】ボタン→【教材の作成】タブ→【簡易資料を作成】をクリック
2. 【資料教材の作成】
  - **ラベル** 付録A参照
  - **タイトル(必須)** 資料のタイトルを入力
  - **第一節タイトル** 節タイトル
  - **テキスト** 資料の説明テキスト
  - **添付ファイル** 「添付資料」からダウンロードできるファイルを指定
3. 【新規作成】ボタン

## 長所

- 閲覧履歴を確認できる
- 操作が簡単で、少ないステップで作成できる

### タイムライン

学生の手書き込みを許可  
ON

書き込み 教材の作成

レポート課題を作成

簡易テストを作成

簡易アンケートを作成

チャットを作成

簡易資料を作成

既存の教材を公開

eポートフォリオ・コンテナ  
作成

### 資料教材の作成

#### 資料教材の作成

ラベル

複数の教材をラベルでまとめて表示することができます。

タイトル **必須**

資料 (09/06 11:49)

第一節タイトル

配布資料

テキスト

ダウンロードしてください。

添付ファイル

ファイルを選択 第3回資料.pdf

新規作成

### 教材実行画面

教材 資料を閉じる しおりをつけて閉じる

> プログラミング入門  
資料 (09/06 11:49)

鈴木 先生 さんがログイン中

[ 前のページ ] [ 次のページ ]

しおりをつけて閉じる

目次を隠す 資料を閉じる

第1節 配布資料 1 添付資料

ダウンロードしてください。

## 1-2.複数ファイルの配布

### 操作手順

1. 【教材を作成する】ボタンをクリック 教材を作成する
2. 【資料】をクリック
3. 「基本設定」(付録C)の入力
  - ・ タイトルの入力が必要
4. 必要であれば「教材実行時の制限」(付録D)
5. 【資料作成:ページ編集】をクリック
6. 資料作成後【変更を保存して終了】ボタンをクリック

### ページの編集

1. **タイトル** 資料の名前を入力
2. **テキスト or 取り込みファイル** 資料の内容を説明するものや、資料をそのまま表示させることも可能
3. **添付資料ファイル** 資料としてダウンロードさせたいファイルを指定
4. 資料のページができれば、【新しいページを追加】で次のページを作成

編集

ネットワーク講習会(デモ)  
資料 作成/編集/削除

鈴木先生 さんがログイン中

複数ファイルの配布

[ 前のページ ] [ 次のページ ]

新しいページを追加 削除

変更を保存して終了

実行時の表示形式 目次を表示する メニューバーを表示する

タイトル	ページ番号	ページ移動
第1節	1	1

資料1 ページ

第1節 タイトル 配布資料

テキスト

取り込みファイル

添付資料ファイル

目次に表示されるタイトル

資料の内容として表示される文章

WordやPDFの内容を資料として表示させたい場合は、ここでファイルを指定

## 2.レポート課題

### できること

- レポート課題の提示
- レポートの回収
  - ・ 提出期限の設定
  - ・ 提出ファイルの容量や形式の指定
- レポート提出後に確認できる解説ファイルの提示
- ルーブリックによる採点基準の明示
- 類似レポート検知機能
- 採点機能
  - ・ 再提出を学生に依頼可能
  - ・ 定型コメント文の入力支援
- レポートファイルの一括ダウンロード
- Excelによる採点ファイルの作成

### 長所

- 出席番号順での並べ替えなど、紙での面倒な作業を軽減できる
- タブレット端末での採点も可能
- 定型文を使ってコメント付きで返却できる

## 2-1.レポート課題の作成(1) タイムラインからレポートを作成

### 簡単な手順でレポート課題の作成

1. 【簡易教材作成】 ボタンをクリック
2. 【教材の作成】 タブをクリック
3. 【レポート課題を作成】 を選択
4. レポート課題の概要を設定
5. 【新規作成】 をクリック



**レポート教材の作成**

**教材の概要**

ラベル

複数の教材をラベルでまとめて表示することができ

タイトル **必須**

説明

**課題**

課題内容

添付ファイル

**解答**

解答形式

**配点**

☐ ルーブリックを使用する

**提出設定**

教材実行時の制限  
☐ 日時制限

### レポート課題の概要

- **ラベル** 付録A
- **タイトル (必須)** レポート課題の名前
- **説明** 課題を実行する前に読むことができる説明文
- **課題内容** レポート課題の説明文に詳細な説明がある場合は、添付ファイルにファイルを指定をすると、学生はそのファイルをダウンロードできる
- **配点** 点数を直接入力するか、選択肢から選ぶ、もしくは【ルーブリックを利用する】をチェックしてルーブリックを利用する
- **教材実行時の制限** 【日時制限】にチェックを入れて提出期限を指定できる（付録D）

**2020/09/13 12:20**

配点

☐ ルーブリックを使用する

**提出設定**

教材実行時の制限  
☒ 日時制限

~

# 2-1.レポート課題の作成(2)タイムラインからループリックを利用する

## ループリック利用のメリット

- レポートの評価基準を明示できる
- レポート課題で用いられる汎用ループリックが用意されている
  - ・ 後から自分で修正可能
- テンプレートループリック
  - ・ 教材新規作成ウィンドウの右側に表示
  - ・ 過去に用いたループリックや汎用ループリックを再利用可能
  - ・ リンクをクリックすることで利用可能
- 学生の画面
  - ・ レポート課題を選んだとき表示

採点ループリック			
	素晴らしい	もう少し	残念
引用元の学術性	学術的な文献が直接引用されている	学術的な文献が直接引用されていない(おそらく孫引きである)	学術的な文献ではない、あるいは引用されていない
引用元の明示	文中での引用がすべて明示されている	文中での引用に1つ抜けがある	文中での引用に2つ以上抜けがある
誤字脱字	誤字脱字が全くない	誤字脱字が1か所ある	誤字脱字が2か所以上ある
日本語表現	ですます調(敬体)もしくは、である調(常体)かで統一されている		ですます調とである調が混じっている
体裁	文字サイズ、フォント、行間、章立てが整っていて、読みやすい		文字サイズ、フォント、行間、章立てが不規則で、読みづらい
英語表記・数字表記	半角(1バイト)文字で全て表記されている	半角(1バイト)文字で95%以上が表記されている	半角(1バイト)文字の割合が95%未満である

レポート教材の作成

教材の概要

ラベル

複数の教材をラベルでまとめて表示することができます。

タイトル 必須

レポート (09/06 12:20)

説明

教材の開始前から確認できる説明です

定型文

課題本文に定型文を挿入します。

1. 未登録 編集

2. 未登録 編集

3. 未登録 編集

4. 未登録 編集

5. 未登録 編集

テンプレートループリック

以前レポート教材で使用したループリックを再利用できます。

・ レポート課題 (サンプル)

ループリックのテンプレートです。

・ レポート課題の汎用ループリック

配点

☒ ループリックを使用する

☒ 回答時にループリックを表示する

☒ 採点結果にループリックを表示する

配点:18

3 x 3 

サイズ変更

	<div>素晴らしい</div> <div>配点</div> <div>3</div>	<div>もう少し</div> <div>配点</div> <div>2</div>	<div>残念</div> <div>配点</div> <div>1</div>
<div>引用元の学術性</div> <div>削除</div> <div>1行追加</div>	<div>学術的な文献が直接引用されている</div>	<div>学術的な文献が直接引用されていない(おそらく孫引きである)</div>	<div>学術的な文献ではない、あるいは引用されていない</div>
<div>引用元の明示</div> <div>削除</div> <div>1行追加</div>	<div>文中での引用がすべて明示されている</div>	<div>文中での引用に1つ抜けがある</div>	<div>文中での引用に2つ以上抜けがある</div>

2箇所チェックを入れるのがお勧め

12

## 2-1.レポート課題の作成(3)学生の実行画面

レポート課題を選択したときに表示される画面

レポート (09/06 12:20)

■ 利用可能時間 [2020/09/06 12:20~2020/09/13 12:20]  
■ コース管理者はいつでも、何回でも実行可能です。

説明, 実施条件

レポート提出を始める

開始

終了

教材一覧に戻る

レポート提出をせずに課題を終了しようとしたときに表示される画面

まだ全ての問いに答えていませんが  
本当にこのまま終了しますか？

[戻る]ボタンで回答画面に戻ります。

戻る

終了

ここで【終了】をクリックすると  
何も提出されずに教材一覧画面に戻る。

【開始】ボタンを押したときに表示される画面

今週のレポート課題を提出してください。

課題内容

提出ファイルの選択

ファイルを選択    ファイル未選択

レポート提出

レポート提出実行ボタン

最大アップロードファイルサイズ: 10 MB

採点ルーブリック

	素晴らしい	もう少し	残念
引用元の学術性	学術的な文献が直接引用されている	学術的な文献が直接引用されていない(おそらく孫引きである)	学術的な文献ではない,あるいは引用されていない
引用元の明示	文中での引用がすべて明示されている	文中での引用が明示されていない	
誤字脱字	誤字脱字が全くない	誤字脱字がある	
日本語表現	ですます調(敬体)もしくは、である調(常体)かで統一されている		


ルーブリックは、教材作成時にルーブリックを使用し【回答時にルーブリックを表示する】にチェックを入れた場合に表示される。

[前のページ]    [次のページ]

終了

## 2-1.レポート課題の作成(4) 【教材作成】 から作成

### レポート課題で提出するファイル形式やファイルサイズを指定する場合

1. 【教材を作成する】をクリック 
2. 【レポート】を選択
3. 「基本設定(付録C)」, 「教材実行時の制限(付録D)」を必要に応じて指定
4. 【テスト作成: 問題編集】をクリック
5. 課題を設定後【変更を保存して終了】をクリック

### 必要な設定

- **配点** 数値を入力
- **ループリックを編集** ループリック指定
- **[課題の内容]** 課題ファイルを指定するか, 「課題手入力」に課題内容を入力
- **ファイルの種類を限定する** 特定のファイル形式のみを受け付ける場合
- **解説変換元ファイル** レポート提出後に読める解説ファイルの表示

レポート (09/06 12:20) 課題 1

共通オプション	ページ: 複数ページ 種別: レポート 添え字: 1234 ランダム出題: しない 選択肢並べ替え: しない
配点?	18 合計点: 18 難易度: B (normal) 出題分野: ループリックを編集
課題ファイル?	ファイルを選択 ファイル未選択 変換方法: <input checked="" type="radio"/> HTML <input type="radio"/> PDF PowerPoint ファイルはPDFに変換されます。
課題手入力?	今週のレポート課題を提出してください。
課題	
画像/音声ファイル?	ファイルを選択 ファイル未選択
添付資料ファイル?	ファイルを選択 ファイル未選択
課題スタイル?	レポート提出
オプション	レポートを提出するボタンが表示されます。 □ 1問につき1レポートが提出できます。 □ 複数のレポートを提出させる場合は、問題を複数作成してください。
解説	解説変換元ファイル? ファイルを選択 ファイル未選択 変換
解説手入力?	

レポートの最大サイズ  
□ 設定可能上限値: 10 MB

ファイルの種類を限定する  
☐ Word ☐ Excel  
☐ PowerPoint  
☐ Text ☐ PDF

「配点」の入力を忘れがち！  
ここが0点だと採点不能になる

課題に関する添付ファイルや画像・音声ファイルがある場合はここで指定することで、ダウンロードできたり、画像・音声を聴取できたりする

「変換方法」で「PDF」を選択するとレイアウトを比較的忠実に表示できる

WebClassの「レポート課題」はテスト/アンケートの1種類として扱われる。

## 2-1.レポート課題の作成(5) 教材編集画面からループリックの利用

### 操作手順

1. 教材編集画面で【ループリックを編集】をクリックして別ウィンドウを表示
2. 表示された編集画面でループリックを作成したり、オプションにチェックを入れたりする
3. 【保存】ボタンをクリック

### 便利な機能

- ループリックのサイズ、評価点は自由に変更できる
- 評価項目と評価点のサイズにより自動的に点数化される「配点」として設定される
- サンプルファイルをダウンロードして、オリジナルのループリックを作成して取り込むと便利

ループリックの編集

ループリックの削除

ループリックをCSVファイルから読み込む サンプルファイル

ファイルを選択 ファイル未選択 ロード

サンプルファイル

☒ 回答時にループリックを表示する

☒ 採点結果にループリックを表示する

配点:18

3 x 6 サイズ変更

サイズ変更

評価点

評価項目

評価基準

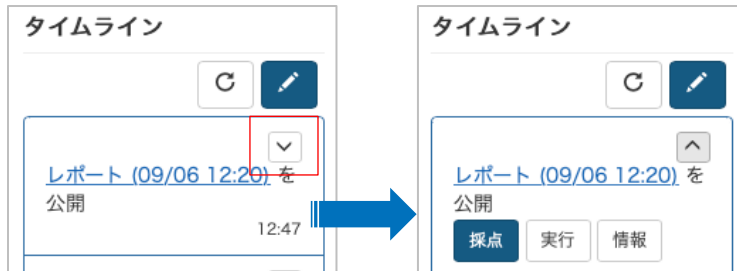
	A	B	C	D
1	できた	普通	できなかった	
2	出席状況	ほとんどの講義に出席している	半分ぐらい出席している	まったく出席していない
3	協調性	グループの中で積極的にコミュニケーションがとれている	他人と会話がとれている	他人と会話がとれていない
4	思考力	1つの物事に関して深く考察することができている	物事に対して疑問を持つことができている	物事に対して考える努力を示さない
5	理解力	講義の内容を完全に理解ができている	半分程度理解ができている	まったく理解ができている
6				
7				
8				



## 2-2.レポートの採点をしたい(1)

### 採点画面の開き方

- タイムラインに掲示された教材から開く
  1. 採点したい教材の【V】ボタンをクリック
  2. 【採点】ボタンをクリック



- 教材一覧の教材から開く
  1. 採点したい教材の【…】メニューから【公開状況】をクリック
  2. 【レポート/記述式問題の採点】リンクをクリック



### 2つの採点方法

- 画面で直接点数を付けるには、「[2-2. レポートの採点をしたい\(2\) 個別採点](#)」もしくは「[2-2. レポートの採点をしたい\(3\) ルーブリック採点採点](#)」に進みます。
- まとめてCSVファイルを使って点数を登録するには、「[2-3. 効率よく採点したい\(1\) 点数の入力をExcelで行う](#)」に進みます。



## 2-2.レポートの採点をしたい(2) 個別採点

### 採点方法

1. 点数, コメントの入力
2. 編集した箇所がピンク色でマークされる
3. 【保存】ボタンをクリック
4. スクロールして前後の学生を見ることが出来る

長谷川 博之(ST0A003) 提出日時: 2023-03-02 15:58:45

Q. 1 提出日時: 2023-03-02 15:58:45

レポート 001\_ST0A003\_長谷川\_博之\_Q1\_dns2.pdf プレビュー

添削ファイル Choose File No file chosen 元に戻す

採点 得点 8 / 10 10 8 6 4 2 ▲ ▼ クリア

コメント よくできました

定型文

再提出指示 ☐ 再提出を指示する

保存 リセット

配点より高い点数は付けられない

配点を変更する場合は問題作成画面で配点を設定しなす

鈴木 登(ST0A004) 提出日時: 2023-03-02 15:58:46

Q. 1 提出日時: 2023-03-02 15:58:46

レポート 002\_ST0A004\_鈴木\_登\_Q1\_route.pdf プレビュー

### 定型文の挿入

1. 採点画面で【定型文】をクリック
2. 5つの定型文から好きなものを選択

### 定型文の編集

1. 【定型文】をクリックして【編集】をクリック
2. 定型文の編集画面で定型文を入力し, 【保存】ボタンをクリック

コメント

定型文

よくできました。

もう少し頑張

CCCCC

編集

定型文の編集

定型文 1

よくできました。

定型文 2

もう少し頑張りましょう

定型文 3

定型文 4

提出前に誤字脱字の確認をしましょう。|

定型文 5

保存

閉じる

# 2-2.レポートの採点をしたい(3)ループリックでの採点

## ループリックでの採点

- 1. 評価基準に沿ってチェックをつけると、自動的に点数が計算される

鈴木 登(ST0A004)

提出日時：2023-03-22 11:54:18

Q. 1 提出日時：2023-03-22 11:54:18

レポート

wikipedia が誰でもアクセスできることは、何かに興味を持った全ての人が直ぐに読んで知ることができる点で、よいことだと思います。

例えば「ジェットエンジン」など、技術的な事項を数式や画像を用いて解説しているページも多数あり、細かく知ることができます。

ただし、記述内容は常に正しいとは限らず、内容に責任を負う特定の著者がいるわけではないため、引用などを確認しながら特に批判的に読む必要があると思います。

そのためには前提知識が求められることもあり、したがってアクセスが容易である事と、活かすことが容易かどうかは別問題だと思います。

なので、学びきっかけや最初の一步のハードルを下げてくれるツールとして有益と思います。

文字数：311    スペース ( 半角:1, 全角:0, タブ:0 )    改行：4

採点

得点 6 / 9    0点に設定    クリア

	できた (3)	ふつう (2)	できなかった (1)
出題の意図になっ...	<input checked="" type="radio"/> 出題意図に即した論点を設定し、さらに掘り下げている、もしくは発展させるといった工夫がある。	<input type="radio"/> 出題意図に即した論点を設定している。	<input type="radio"/> 論点が不明瞭、もしくは出題意図とずれている。
論理的に議論を展開し...	<input type="radio"/> 具体的な根拠を示...	<input checked="" type="radio"/> 論理的に組み立て...	<input type="radio"/> 論理の飛躍があり...
体裁が整えられてい...	<input type="radio"/> 段落が整理され、...	<input type="radio"/> 段落が整理されて...	<input checked="" type="radio"/> 誤字脱字などがあ...

コメント

定型文

再提出指示

☐ 再提出を指示する

保存    リセット

## ループリックの表示切り替え

- 1. 列タイトルをクリックすると列の記述が展開

採点    得点 6 / 9    0点に設定    クリア

縦向き表示

	できた (3)	ふつう (2)	できなかった (1)
出題の意図になっ...	<input checked="" type="radio"/> 出題意図に即した論点を設定し、さらに掘り下げている、もしくは発展させるといった工夫がある。	<input type="radio"/> 出題意図に即した論点を設定している。	<input type="radio"/> 論点が不明瞭、もしくは出題意図とずれている。
論理的に議論を展開し...	<input type="radio"/> 具体的な根拠を示...	<input checked="" type="radio"/> 論理的に組み立て...	<input type="radio"/> 論理の飛躍があり...
体裁が整えられてい...	<input type="radio"/> 段落が整理され、...	<input type="radio"/> 段落が整理されて...	<input checked="" type="radio"/> 誤字脱字などがあ...

- 2. 【縦向き表示】すると、列ごとに縦に表示

採点    得点 6 / 9    0点に設定    クリア

横向き表示

出題の意図になっ...

行の展開切り替え

できた(3)	<input checked="" type="radio"/> 出題意図に即した論点を設定し、さらに掘り下げている、もしくは発展させるといった工夫がある。
ふつう(2)	<input type="radio"/> 出題意図に即した論点を設定している。
できなかった(1)	<input type="radio"/> 論点が不明瞭、もしくは出題意図とずれている。

論理的に議論を展開している。

行の展開切り替え

できた(3)	<input type="radio"/> 具体的な根拠を示しながら論理的に組み立てて...
ふつう(2)	<input checked="" type="radio"/> 論理的に組み立てているが、具体的な根拠や説...
できなかった(1)	<input type="radio"/> 論理の飛躍があり、何が言いたいかわかりにくい

## 2-2.レポートの採点をしたい(4) 再提出指示

### レポートの再提出をさせる場合

1. 再提出させたい学生のレポート採点パネルを表示
2. **【再提出を指示する】**をチェック
3. 再提出期限を設定したい場合は、さらに**【再提出期限を設定する】**にチェックを入れ、期限を設定
4. **【保存】**をクリック。点数やコメントが保存されると同時に再提出指示がでる

コメント

定型文

再提出指示

☐ 再提出を指示する

☒ 再提出を指示する

☐ 再提出期限を設定する

※ 保存したときに再提出指示の通知メッセージが学生に送信されます。

☒ 再提出を指示する

☒ 再提出期限を設定する 2023/03/15 12:00

※ 保存したときに再提出指示の通知メッセージが学生に送信されます。

複数の学生に連続して再提出の期限を指定するとき  
は、直前で指定した期限が自動的に設定されます。

### 学生の見え方

1. 教材一覧で再提出指示のメッセージが表示されます
2. メッセージでも再提出の指示が通知されます
3. 教材の「利用可能期間」が過ぎていても、再提出支持を受け取った学生は再提出の締め切りまでは教材を開いて提出できます。

[レポート課題1](#)

レポート

再提出が必要です。締め切り: 2023/06/10 12:00

[詳細](#)

[利用回数 1](#)

受信メッセージ

[< 前へ次へ >](#)

» [ダウンロード](#)

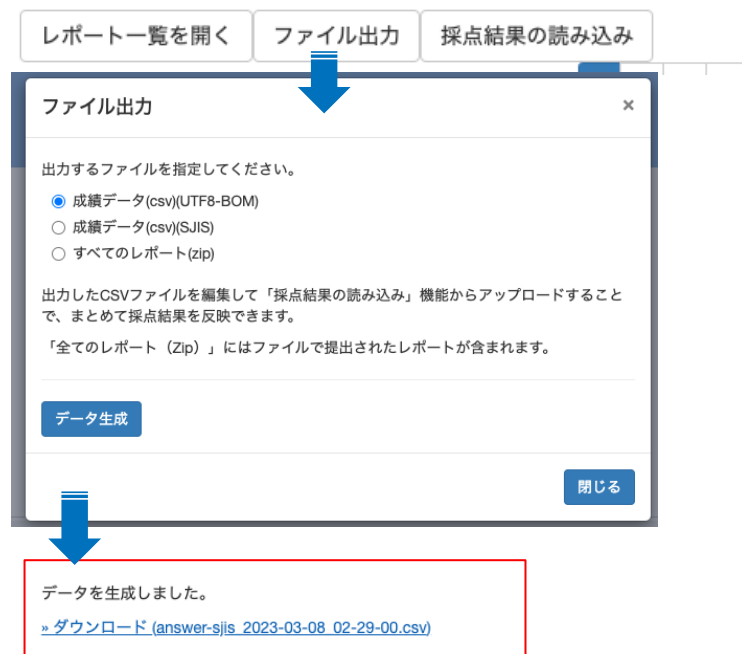
件名	課題の再提出をしてください [レポート採点画面評価 / レポート課題1] <再提出期限: 2023/06/10 12:00>
日付	2023/05/29 18:26:53
差出人	DPJ保守用コース管理者
コース	レポート採点画面評価
宛先	清水 修司 (ST0A005)
メッセージ	
課題の再提出をしてください	
コース名: レポート採点画面評価 課題名: レポート課題1 再提出期限: 2023/06/10 12:00	
課題につけられたコメントは[マイレポート]から参照できます。	
再提出はこの課題の提出期限が過ぎた後でも可能です。 できるだけ早くシステムにログインし、 課題名を選択してレポートを再度提出してください。	
<a href="#">[返事を書く]</a>	

## 2-3.効率よく採点したい(1) 点数の入力をExcelで行う

### Excelでの採点の手順

1. 採点画面で【ファイル出力】ボタン→【成績データ(csv)(SJIS)】を選択し、【データ生成】をクリック

結果 32 件 (2023-03-08 14:06:50)



2. answer.csvに点数とコメント入力(Excelなどの表計算ソフトを利用)
3. 採点画面の【採点結果の読込】ボタンを選択し、編集したanswer.csvを指定
4. 【採点結果の読み込み】ボタンをクリック

### 提出レポートのダウンロード手順

1. ファイル出力画面で【すべてのレポート(zip)】を選択
2. ファイルが圧縮されてダウンロード出来る。ダウンロードしたらファイルをダブルクリックして展開

### Excel上での点数入力

1. point列に得点を数値で入力
2. comment列にコメントを入力



## 2-3.効率よく採点したい(2) 類似レポート検知

### 操作手順

提出されたWordやPDFファイルの内容を比較して、類似度の高いレポートを教えてくれる機能

1. コースメニューから【成績】→【類似レポート検知】を選択
2. 【テスト/アンケート教材の回答】を選択
3. 「対象教材：」のプルダウンメニューから検知したい教材を選択
4. 【処理を開始する】ボタンをクリック
5. 「ジョブ一覧」が表示されるので、「ジョブの状態」が【結果を見る】ボタンになるまで1分程度待つ
6. 【結果を見る】ボタンをクリック

インターネットを検索して類似文を探してくる機能ではない

### 検知結果

- スコアが高いほど類似しています(70以上は酷似)
- 課題によってスコアが高くなりやすい場合もある

ジョブ一覧が表示されたら、一旦類似レポート検知のウィンドウを閉じてても処理は継続する

類似レポート検知

ジョブ一覧

» 更新

<input type="checkbox"/> 削除		ジョブの状態	対象レポート数	ジョブ開始時間
<input type="checkbox"/>	結果を見る	完了	7	2020-05-25 15:19:10
<input type="checkbox"/>	結果を見る	完了	5	2018-08-23 17:20:28

新規ジョブ登録

検知対象を選択してください。

テスト/アンケート教材の回答

データを新規アップロード

対象教材: --- 選択して下さい ---

類似レポート検知 結果

比

最低

最大

詳細

ジョブ開始時間: 2020-5-25 15:19

最低文字数: 10

最大文字数: 100000

対象レポート数: 7

表示件数: 21

スコア	氏名1	氏名2	内容1
78.0	user7	user8	WebClassが提供するeポートフォリオは、対象者や利用目的、利用範囲の違いにより、蓄積する情報の種類やシステムの構

差分表示

# 3.授業の感想や意見の聴取

## こんなときに

- 筆記テストの採点結果を返却したり成績管理したい
- 授業中に学生の意見を気軽に集めたい
- 学生と先生がインタラクティブな授業を展開したい

## 長所

- 講義形式の大人数授業でも使える機能
- 学籍番号順に並べ替える手間がなくなる
- アンケートの結果をリアルタイムで見せることができる

## 3-1.タイムラインへの書き込み

### 操作手順

- 初期状態ではタイムラインに書き込めるのは教員（author）のみ
- 学生がタイムラインにコメントを書き込めるようにする手順
  1. 【簡易教材作成ボタン】をクリック
  2. 「学生の書き込みを許可」の下にあるプルダウンメニューを操作して、「ON」に変更

The screenshot shows a mobile app interface for a 'タイムライン' (Timeline). At the top, there's a header with a refresh icon and a pencil icon. Below it, a toggle switch labeled '学生の書き込みを許可' (Allow student posting) is set to 'ON'. Underneath, there are two tabs: '書き込み' (Posting) and '教材の作成' (Creating materials). The '書き込み' tab is active, showing a text input field labeled 'テキスト/URL' (Text/URL). Below the text field is a section for 'ファイル/画像' (File/Image) with a button 'ファイルを選択' (Select file) and a status 'ファイル未選択' (File not selected). At the bottom, there is a blue '送信' (Send) button.

### 使いどころ

- 必要なときに書き込みONにすることで、授業に対する意見や感想を直接記入してもらえる。
- タイムラインが学生の書き込みで埋め尽くされると大事な情報が見えにくくなる場合もある。

教員画面から見ると、学生からの書き込みは記名式になりますが、学生画面から見た場合には氏名は表示されず無記名式となる

特定のテーマについて発言を求める場合はチャット機能の方が便利「4. グループ学習」を参照



## 3-2.アンケート機能を使う

### 授業にアクセントをつけるためにも 使える機能

アンケート機能については、「5.アンケート」を参照

- アンケート結果をリアルタイムに見せる
  - ・ 学生が回答すると結果の表示も変化するので、ライブショーのような感じで使える
- QRコードの利用
  - ・ 教材にアクセスするためのQRコードを提示することで、学生はスマートフォンからでも容易にアンケートに回答できる
- 回答選択肢の工夫
  - ・ 例) 回答選択肢を手入力で作成するのは大変なので、アンケートでは選択肢だけにし、黒板やホワイトボードに回答選択肢を板書する

### 運用上の工夫

- タイムラインの活用
  - ・ タイムライン上に公開すると、最上位に必ず来るので、学生から見たときに分かりやすい
  - ・ 事前にアンケートを非公開で作成しておき、タイムラインに【既存教材の公開】で公開すると授業中にスピーディーに公開できる
- 教材のコピーを利用
  - ・ 同じアンケートをコピーすれば、毎回授業終わりに行うアンケートの作成が楽になる
- 学生の関与を高めるために
  - ・ 授業の冒頭で意見聴取のアンケートを実施して、授業内容に対する学生の関心を高めるような運用も可能
- 対象者を限定する
  - ・ パスワード付きにして、授業に来ている人だけにパスワードを伝える

## 4.グループ学習

---

### ■ どんなときに使えるか


- グループ活動による学習を促進したい
  - ・ 資料の共有
  - ・ 意見の共有
  - ・ チャット機能が意外に使える

### ■ 長所

- チャット機能は意外に便利

## 4-1.チャット機能を使う

### チャットの作成手順

1. 【簡易教材作成】ボタンをクリック 
2. 【教材の作成】タブから【チャットを作成】を選択
3. ラベル, タイトル(必須), 説明を設定
4. 【新規作成】ボタンをクリック

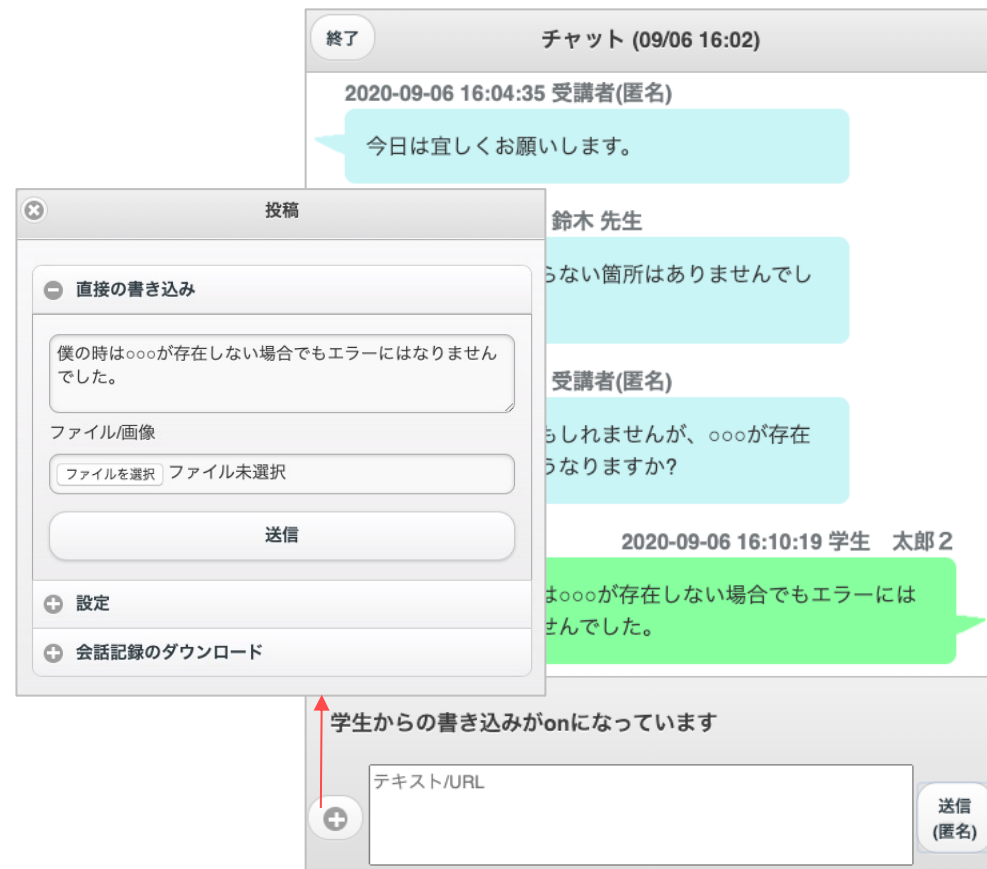
### チャット画面の使いかた

- テキストのみの場合
  - ・ ウィンドウ下のテキスト入力欄に文字を入力して, 【送信】ボタンをクリック
- ファイルの添付をする場合
  - ・ ウィンドウ左下の【+】アイコンをクリックし, 「投稿」ウィンドウのテキストと添付したいファイルを選択して, 【送信】ボタンをクリック
- 会話記録のダウンロードも可能

会話記録をダウンロードするときには, ファイルを添付する場合に表示される投稿ウィンドウの中にある【会話記録のダウンロード】メニューから行う

### 学生から見たチャットの画面

- 学生自身と先生以外の投稿者の名前は「匿名」となり, 表示されない
- 自分の発言は緑色



## 5.アンケート機能

### こんなときに

- 授業内で学生の意見や感想を聴取したいとき
- 学生の注意を惹き付けるツールとして


### 長所

- 簡単なものは作成しやすい
- 集計結果をリアルタイムで示すことができる
- 結果をダウンロードできる

授業中に操作する場合はタイムラインから簡易アンケートを作成すると便利

# 5-1.簡単なアンケートを作る-タイムラインからの作成

## 簡易アンケートの作成手順

1. 【簡易教材作成】ボタンをクリック 
2. 【教材の作成】タブから【簡易アンケートの作成】を選択
3. 必要事項の入力
  - ラベル 付録A
  - タイトル(必須) アンケートの名前
  - 質問 質問文を入れるか、ウィンドウ右に「定型文」があればそれをクリックすることでよく使う文章を入力することが可能
  - 質問スタイルの設定
  - 【新規作成】ボタンをクリック
4. 選択肢の手入力
  - 質問スタイルで(手入力)を選ぶと各選択肢の値を入力する欄が表示される

質問スタイル	
単数選択(手入力)	
各選択肢の値	
1	まったく理解できなかった <a href="#">削除</a>
2	あまり理解できなかった <a href="#">削除</a>

## 質問スタイルによる回答欄の違い

今日の授業は理解できましたか？

1. ☐ 2. ☐ 3. ☐ 4. ☒ 5. ☐

[前のページ] 次のページ

終了

選択肢のみ

今日の授業は理解できましたか？

1. ☐ まったく理解できなかった

2. ☐ あまり理解できなかった

3. ☒ まあ理解できた

単数選択(手入力)

回答を入力してください。

(1) 演算子

前のページ 次のページ

単語・数値入力

正しいと思うものを選択してください。

1. ☒ 1番

2. ☐ 2番

3. ☒ 3番

複数選択式

### アンケート教材の作成

ラベル

複数の教材をラベルでまとめて表示することができます。

タイトル **必須**

アンケート (09/06 16:19)

質問

配布した資料と教科書をよく読んで回答してください。

### 定型文機能

### 定型文


課題本文に定型文を挿入します。

1. 今日の授業は理解できましたか？ [編集](#)
2. 今日の感想はどうですか？ [編集](#)
3. 配布した資料と教科書をよく読んで回答してください。 [編集](#)
4. 未登録 [編集](#)
5. 未登録 [編集](#)

## 5-2.凝ったアンケートを作る

### 操作手順

アンケートに答えるタイミングを自動化したり、パスワード付きアンケートを作成する場合

1. **【教材を作成する】** ボタンをクリック 
2. **【アンケート】** を選択
3. 「基本設定(付録C)」と「教材実行時の制限(付録D)」を行う
  - 基本設定の「種別」で「アンケート(無記名)」を選択すると、無記名式のアンケートになる
4. 必要であれば「問題表示(付録G)」と「採点・結果表示(付録H)」を行う。
5. **【テスト作成：問題編集】** ボタンをクリック
6. アンケートが完成したら、**【変更を保存して終了】** をクリック



ネットワーク講習会(デモ)  
テスト/アンケート 作成/編集/削除

鈴木先生さんがログイン中

アンケート (09/06 16:19)

前のページ 2 [次のページ]

コピー 新しい問題を追加

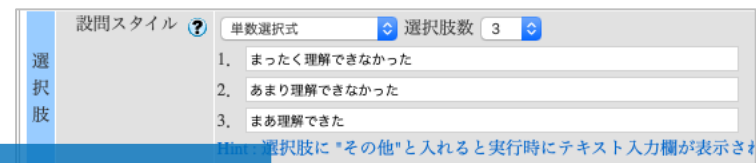
削除 変更を保存して終了

ページ(配点) 移動

問	1	2
1	1	2
2	2	2

### アンケートの編集

- 設問スタイルを選択し、それに合わせて設定を行う
- 複数の設問を行う場合は、**【新しい問題を追加】** ボタンをクリックして設問を追加



設問スタイル ?

単数選択式 選択肢数 3

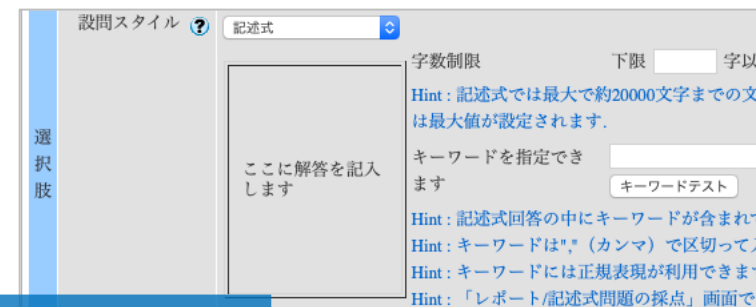
1. まったく理解できなかった

2. あまり理解できなかった

3. まあ理解できた

Hint: 選択肢に「その他」と入れると実行時にテキスト入力欄が表示され

#### 選択肢(手入力)



設問スタイル ?

記述式

字数制限 下限 字以

Hint: 記述式では最大で約20000文字までの文は最大値が設定されます。

キーワードを指定できます

キーワードテスト

Hint: 記述式回答の中にキーワードが含まれて

Hint: キーワードは"," (カンマ) で区切って

Hint: キーワードには正規表現が利用できません

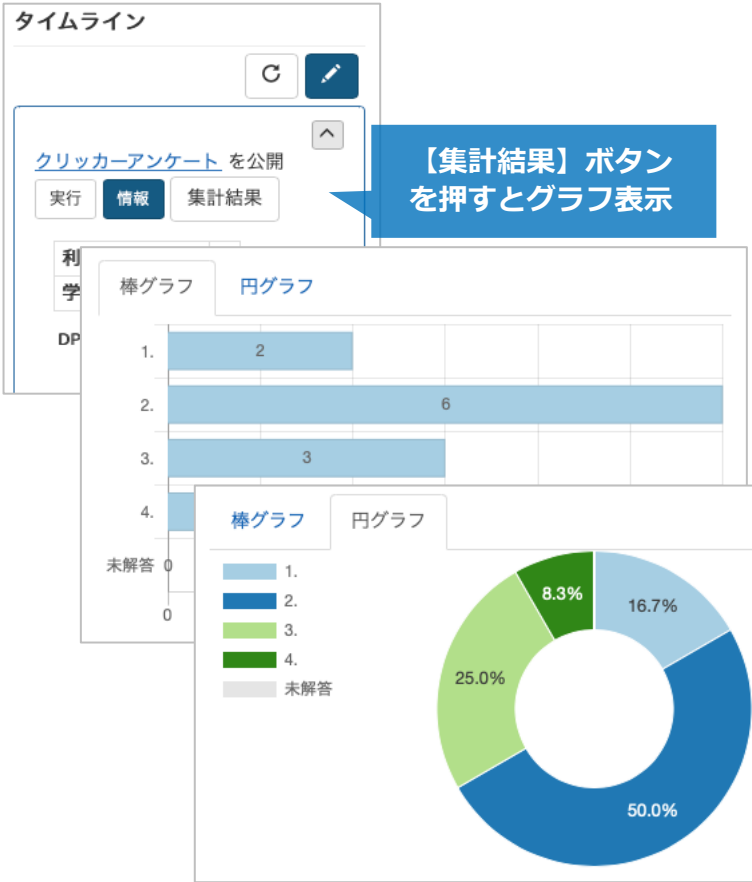
Hint: 「レポート/記述式問題の採点」画面で

#### 自由記述

# 5-3.回答結果の利用・閲覧

## タイムラインからの手順

- 1. 教材の枠外もしくは【V】をクリック
- 2. 詳細な状況は【情報】ボタンをクリック
- 3. 【集計結果】ボタンをクリック



## 教材一覧からの手順

- 1. 集計結果を見たい教材の【…】ボタンから【公開状況】を選択
- 2. 【アンケート集計】タブを選択
  - 棒グラフ, 円グラフが表示される
- 3. 【詳細】ボタンをクリック
- 4. 結果画面の左下に設問ごとに集計結果が表示される



アンケートの結果は一定時間で更新され、グラフや集計結果が更新されるため、学生が回答するにしたがってグラフも変化する

## 5-4.アンケート作成例(1)-選択肢から選ぶ形式

### 単数選択

設 問	設問手入力 ?	今日の授業は理解できましたか？
	画像/音声ファイル ?	ファイルを選択    ファイル未選択
	添付資料ファイル ?	ファイルを選択    ファイル未選択
	設問スタイル ?	単数選択式    選択肢数 4
選 択 肢		1. 理解できなかった
		2. どちらかといえば理解できなかった
		3. どちらかといえば理解できた
		4. 理解できた

単数選択式を選んで  
選択肢数を指定

回答選択肢を入力

### アンケート実行時

今日の授業は理解できましたか？

- ☐ 理解できなかった
- ☐ どちらかといえば理解できなかった
- ☐ どちらかといえば理解できた
- ☒ 理解できた

選択肢の中から一つだけ選択

### 複数選択

設 問	設問手入力 ?	次の中で持っているものはどれですか？
	画像/音声ファイル ?	ファイルを選択    ファイル未選択
	添付資料ファイル ?	ファイルを選択    ファイル未選択
	設問スタイル ?	複数選択式    選択肢数 4
選 択 肢		1. スマートフォン
		2. ノートパソコン
		3. デSKTOPパソコン
		4. 電子レンジ

複数選択式を選んで  
選択肢数を指定

回答選択肢を入力

次の中で持っているものはどれですか？

- ☒ スマートフォン
- ☒ ノートパソコン
- ☐ デSKTOPパソコン
- ☐ 電子レンジ

選択肢の中から当てはまるものを複数選択

### レベル感を知りたい

設 問	設問手入力 ?	今日の理解レベルを5段階の中から一つ選んでください。
	画像/音声ファイル ?	ファイルを選択    ファイル未選択
	添付資料ファイル ?	ファイルを選択    ファイル未選択
	設問スタイル ?	レベル選択    選択肢数 5
選 択 肢		理解できた    5 4 3 2 1    理解できなかった
		Hint: レベル選択はアンケート用の解問形式です。正解を指定することは
		Hint: 選択肢並べ替えは行われません。
		左右のレベルを入力

レベル選択を選んで  
選択肢数を指定

左右のレベルを入力

今日の理解レベルを5段階の中から一つ選んでください。

理解できた    5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 理解できなかった

選択肢の数値から一つだけ選択



## 5-4.アンケート作成例(2)-何かを記入してもらう形式

### 単語/数値を答えてもらう

設 問	設問ファイル ?	ファイルを選択	ファイル未選択	変換方法
	設問手入力 ?	次の質問に当てはまる数値もしくは単語を入力して下さい。 (1) あなたが生まれた月 (2) あなたの好きな花の名前		
	画像/音声ファイル ?	ファイルを選択	ファイル未選択	
	添付資料ファイル ?	ファイルを選択	ファイル未選択	
選 択 肢	設問スタイル ?	単語/数値入力 <input type="button" value="v"/> 回答枠の数 <input type="text" value="2"/> <input type="button" value="v"/>		
		(1) -> _____ (2) -> _____		

単語数値入力を選んで回答枠の数を指定

### アンケート実行時

次の質問に当てはまる数値もしくは単語を入力して下さい。

(1) あなたが生まれた月 (2) あなたの好きな花の名前

(1) 4月  
(2) さくら

入力欄に単語や数値を  
直接入力

### 自由に意見や感想を答えてもらう

設 問	設問手入力 ?	今日理解できなかったことを具体的に記入して下さい。	
	画像/音声ファイル ?	ファイルを選択	ファイル未選択
	添付資料ファイル ?	ファイルを選択	ファイル未選択
選 択 肢	設問スタイル ?	記述式 <input type="button" value="v"/>	
		字数制限 下限 <input type="text" value="100"/> 字以上, 上限 <input type="text" value="400"/> 字まで ここに解答を記入します 記述式を選んで必要であれば字数制限を設定 Hint: 記述式では最大で約20000文字までの文章を入力できます。プランは最大値が10000文字です。 Hint: 記述式ではキーワードが含まれているか検索します。 Hint: キーワードは" (カンマ) "で区切って入力してください。 Hint: キーワードには正規表現が利用できます。正規表現を使う際は""で囲ってください。 Hint: 「レポート/記述式問題の採点」画面でキーワードがいくつ含まれるかが表示されます。	

今日理解できなかったことを具体的に記入して下さい。

字数制限: 下限 100 字以上, 上限 400 字まで

今日理解できなかった箇所は・・・|

文章を入力

現在 16 文字。 字数が足りません。 あと 84 文字必要です。

文字数のカウントには空白文字と改行も含まれる

## 6.テスト機能

### こんなときに

- 授業中に理解度を確認する小テストを行いたい
- 本格的なテストを行いたい


### 長所

- 簡単なものは作成しやすい
- 自動採点機能を利用して採点作業が省力化できる
- 結果をダウンロードできる

持ち込み不可のテストを実施するのは難しい面も  
→インターネット接続を利用したカンニングを防ぎにくい

## 6-1.簡単なテストを作る

### 簡易テストの作成手順

1. 【簡易教材作成】ボタンをクリック 
2. 【教材の作成】タブから【簡易アンケートの作成】を選択
3. 必要事項の入力
  - ラベル 付録A
  - タイトル(必須) テストの名前
  - 説明 テストを実行する前に表示される文章
  - 課題内容 テストの内容を入力
  - 問題スタイルの設定 単数選択/複数選択、選択肢数や解答選択肢を入力。正解の選択肢を選択
  - 配点 点数を設定
  - 提出設定 テストの日時制限が必要である場合
  - 【新規作成】ボタンをクリック

### 簡易テストの設定例

課題	テストを実行したら表示される問題文
課題内容	次の中で相関係数をもとに分析を行なっている手法はどれか、適切なものを選択し
添付ファイル	ファイルを選択 ファイル未選択
問題スタイル	単数選択式 選択肢数 4 複数選択式
	1. 母平均の差の検定 2. 適合度検定 3. 因子分析 4. 分散分析
配点	10 100 50 20 10 5
提出設定	教材実行時の制限 <input checked="" type="checkbox"/> 日時制限 2020/10/20 10:00 ~ 2020/10/28 17:00
新規作成	テストが実行できる時間を指定

## 6-2.凝ったテストを作る

### さまざまな回答形式の作成手順

1. **【教材を作成する】** ボタンをクリック 教材を作成する
2. **【テスト】** を選択
3. 「基本設定（付録C）」と「教材実行時の制限(付録D)」を行う
4. 基本設定の「種別」は右を参照
5. 必要であれば「問題表示(付録G)」を行う
6. **【テスト作成：問題編集】** ボタンをクリック
7. アンケートが完成したら **【変更を保存して終了】** をクリック



### 基本設定の「種別」

- **【自習用(成績公開)】** 解答終了後、成績と解説を解答者に表示
- **【試験(成績非公開)】** 解答終了時、結果を解答者に表示しない
- **【一問一答】** 設問にひとつ答えるごとに結果と解説を解答者に表示。このときページ設定は**【複数ページ】**となる

### テスト内容の編集

- 配点、問題文を入力。問題文は別ファイルから読み込みも可
- 問題スタイル(6-4. 参照)を選択し、それに合わせて設定を行う
- **【保存】** ボタンを押すと、作成された問題や解説のレビューが可能
- 複数の問題を作るときは **【新しい問題を追加】** ボタンから作成
- 最後に **【変更を保存して終了】**

# 6-3.解答結果の利用・閲覧

## タイムラインからの手順

- 1. 教材名のリンクをクリックするか【V】を押して、【情報】をクリック
- 2. 【問題ごとの成績表示/再採点】をクリック
- 3. テスト名を確認して【表示】をクリック

## 教材一覧からの手順

- 1. 【…】から【公開状況】をクリック
- 2. 【問題ごとの成績表示/再採点】をクリック
- 3. テスト名を確認して【表示】をクリック

CSVファイルとして解答結果をダウンロードしたいときにクリック

教材ファイル (contents.zip)				[31.44]	最大値 [90.00]	最小値 [0.00]	中央値 [20]	標準偏差 [33.11]
詳細データ (answer.csv)				最大解答時間	結果			
詳細データ (answer-utf8.txt)				11.0秒	Check			
				11.0秒	Check			
回答者一覧 (users.csv)				8.0秒	Check			
				5.0秒	Check			
回答者一覧 (users-utf8.txt)					Check			
問題毎の集計 (summary.csv)					Check			
問題毎の集計 (summary-utf8.txt)					Check			
回答リスト (answer-list.csv)				11.0秒	Check			
回答リスト (answer-list-utf8.txt)				14.0秒	Check			
回答時間リスト (answer-times.csv)				7.0秒	Check			
回答時間リスト (answer-times-utf8.txt)				12.0秒	Check			
ユーザ毎の回答データ (answer-details.csv)				15.0秒	Check			
ユーザ毎の回答データ (answer-details-utf8.txt)				9.0秒	Check			
				6.0秒	Check			
15	44 %	1.0秒	3.0秒	7.0秒	Check			
16	33 %	1.0秒	3.0秒	8.0秒	Check			
17	33 %	1.0秒	3.0秒	8.0秒	Check			
18	22 %	1.0秒	3.0秒	6.0秒	Check			
19	44 %	1.0秒	1.8秒	3.0秒	Check			
20	11 %	3.0秒	3.6秒	6.0秒	Check			

正解を変更し、再採点したいときにクリック

パスワード流出の被害にあわないための注意点として、正しい記述を1つ選びなさい。

【Check】を押した問題の問題文、正解、解答状況の詳細が表示

- 正答
- 1. ネットショッピングは、個人情報の入った自分のパソコンが特定されないよう、インターネットカフェのパソコンを使う。
  - 2. パスワードやクレジットカード番号などの大切な情報は、備忘録として電子メールで保存しておく。
  - 3. インターネットバンキングは自宅の自分のパソコンで行い、共有パソコンの使用は避ける。

正解の表示は問題スタイルによって異なる

解答の詳細

正答	解答	回数	氏名
	1	2	表示
	2	0	表示
	3	1	表示
			表示
			表示

【表示】を押すと回答者の氏名を確認可能

## 6-4.教材公開後に正解を変更

### 正解の変更をして、自動採点の結果を更新する

1. 教材一覧から変更したいテストの【設問編集】を行う(付録E)
2. 正解の変更を行い、【変更を保存して終了】
3. 【…】から【公開状況】をクリック
4. 【問題ごとの成績表示/再採点】をクリック
5. テスト名を確認して、【表示】をクリック
6. 【再採点】をクリック

### 正解を変更した場合の注意点

- 画面表示の問題で【再採点】ボタンが見えにくい場合がある
- 再採点が実行されると、多くの場合、正解を変更した問題番号の「正答率」が変化する。したがって、期待どおりに正答率が変化しないときは、正解の設定が意図通りに行われているかを確認

» ネットワーク講習会(デモ)

問題ごとの成績表示/再採点

鈴木 先生 さんがログイン中

テスト名 INFOSS情報倫理2019 修了テスト1

実施日 全ての実施日 ~ 全ての実施日

得点の指定 未済

対象 ネットワーク講習会(デモ)  
登録ユーザのみ(管理者は含めない)  
» ユーザを絞る

表示 未提出者を表示

対象人数 4 人 レコード数 9

ダウンロード 再採点

分析結果

問題番号	正答率	最小解答時間	平均解答時間	最大解答時間	結果
1	55 %	2.0秒	4.5秒	11.0秒	Check

再採点ボタン

## 6-5.テスト作成例(1)

### 選択肢問題

1. 問題スタイルは「単数選択式」もしくは「複数選択式」
2. 選択肢数を選んで、選択肢を入力
3. 正解にチェックを付ける

単数選択式 選択肢数 4

<input type="radio"/>	1. 母平均の差の検定
<input type="radio"/>	2. 適合度検定
<input type="radio"/>	3. 因子分析
<input checked="" type="radio"/>	4. 分散分析

Hint: 選択肢に "その他" と入れると実行時にテキスト入力欄が表示されます。

### テスト実行時の画面

次の中で相関係数をもとに分析を行なっている手法はどれか、適切なものを選択して下さい。

1. ☐ 母平均の差の検定
2. ☐ 適合度検定
3. ☐ 因子分析
4. ☐ 分散分析

### 短答問題・短答式穴埋め問題

1. 問題スタイルは「単語/数値入力」
2. 解答枠の数を選んで、それぞれに正解を入力

単語/数値入力 解答枠の数 2

(1)の正答文字列/数値 ->

(2)の正答文字列/数値 ->

大文字小文字の違いを無視 ☒ する ☐ しない

全角半角英数字の違いを無視 ☒ する ☐ しない

全角半角スペースを無視 ☒ する ☐ しない

Hint: 正答文字列に A or B のように入力することで複数の正解を指定することができます。

Hint: 正答文字列に 0.5 と入力した場合、0.5 と入力してください。

Hint: この問題形式は部分点が入ります(正解と入力欄が正解の数)。

Hint: 選択肢並べ替えは行われません。

**正解が複数あるときは or で併記**

デフォルトでは大文字小文字などの違いを区別しない。厳密な区別が必要なときに設定変更。

次の問いに答えなさい。

- (1) 記述統計量の中で代表値として最もよく用いられる指標を答えなさい。
- (2) 分散の値が16のとき、標準偏差の値はいくらか、数値を答えなさい。

(1)

(2)

自動採点可能な問題形式

# 6-5.テスト作成例(2)

## 選択式穴埋め問題

- 1. 問題スタイルは「ドロップダウン選択肢」
- 2. 解答枠の数を選択
- 3. ドロップダウンリストの選択肢候補を入力
- 4. ドロップダウンリストの選択肢番号から正答番号を入力

問題手入力

次の文章の空欄（1）から（3）に当てはまる用語をリストの中から選択しなさい。  
記述統計量としてよく用いられる平均値は変数の（1）を表す指標である。  
これに対して、中央値は変数の（2）を表している。  
平均値と中央値は一致していることが分布上は望ましいが、ずれている場合、  
（3）を参考にする事で分布に偏りがあるかどうか検討することができる。

画像/音声ファイル

ファイルを選択    ファイル未選択

添付資料ファイル

ファイルを選択    ファイル未選択

問題スタイル

ドロップダウン選択肢    回答枠の数 3

正答の指定

ドロップダウンリストの選択肢候補

(1)の正答番号-> 2

(2)の正答番号-> 1

(3)の正答番号-> 6

1. 中心

2. 重心

3. 垂心

4. 表心

5. 標準偏差

6. 歪度

7. 尖度

## テスト実行時の画面

次の文章の空欄（1）から（3）に当てはまる用語をリストの中から選択しなさい。

記述統計量としてよく用いられる平均値は変数の（1）を表す指標である。  
これに対して、中央値は変数の（2）を表している。  
平均値と中央値は一致していることが分布上は望ましいが、ずれている場合、  
（3）を参考にする事で分布に偏りがあるかどうか検討することができる。

(1)

2. 重心

(2)

未解答

(3)

未解答

自動採点可能な問題形式



# 6-5.テスト作成例(3)

## 組み合わせ選択問題

- 1. 問題スタイルは「マッチング」
- 2. 選択肢数を選択
- 3. A群, B群の項目を入力し, A群の各項目に対応するB群の番号を正答の指定に入力

問題手入力

和風月名と対応する現在の暦の月を選択して下さい。

画像/音声ファイル

ファイルを選択

ファイル未選択

添付資料ファイル

ファイルを選択

ファイル未選択

問題スタイル

マッチング

選択肢数

4

A群

正答の指定

B群

1. 睦月

4

1. 9月

2. 葉月

2

2. 8月

3. 長月

1

3. 12月

4. 師走

3

4. 1月

- 4. 同様のテストは問題スタイル「表形式」でも実現可能

問題スタイル

表形式

表の大きさ

4

X

4

	9月	8月	12月	1月
睦月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
葉月	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
長月	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
師走	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

## テスト実行時の画面

和風月名と対応する現在の暦の月を選択して下さい。

(1) 睦月

>

未解答

(2) 葉月

>

未解答

(3) 長月

>

9月

(4) 師走

>

8月

>

12月

>

1月

和風月名と対応する現在の暦の月を選択して下さい。

	1. 9月	2. 8月	3. 12月	4. 1月
睦月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
葉月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
長月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
師走	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

自動採点可能な問題形式

## 7.成績評価

---

### | できること

- 教材個別の成績から最終成績へ
- WebClassでできること
  - ・ 教材個別の点数一覧の作成
  - ・ 点数一覧のCSVファイルへの保存

### | 長所

- ダウンロードも簡単
- 成績一覧を取得しやすい

# 7-1.複数課題の成績確認

## 成績をCSVファイルでダウンロード

各課題の成績を確認できる

成績をCSVファイルでダウンロードできる

- コースメニューから【成績】→【成績一覧】を選択
- 成績のダウンロード
  - 【この表をダウンロード】リンクをクリック

### ● 表の表記

- 未 未提出
- \*[0] 未採点の可能性あり
- [数値] 採点数値
- 赤字の数値 合格点に達していない点（合格点の設定をしている場合）

## 知っていると便利な機能

- 学生の氏名をクリックするとその学生にメッセージを送信できる
- 【氏名】，【ユーザID】，【数字部分】の各ボタンでリストの並べ替えができる
- 課題名の下にあるチェックを外すと，その課題の点数は最右列にある合計得点に含まれなくなる
  - 最終得点に入れる課題を選択できる

[» この表をダウンロード](#)

Mail ✓	氏名	ユーザID	出席番号	1 回 目 の 小 テ ス ト	レ ポ ー ト 課 題 7 月	7 月 3 1 日 の テ ス ト	期 末 試 験	期 末 試 験 2	期 末 試 験 3	レ ポ ー ト 8 / 2 5	合計
		数字部分		✓ ▲▼	✓ ▲▼	✓ ▲▼	✓ ▲▼	✓ ▲▼	✓ ▲▼	✓ ▲▼	
✓	学生 太郎 1	user1	2	[0]	未	*[0]	*[0]	*[0]	[80]	未	80
✓	学生 太郎 2	user2	3	未	未	*[0]	[10]	未	[90]	未	100
✓	学生 太郎 3	user3	10	未	未	*[0]	未	未	[55]	未	55
✓	学生 太郎 4	user4	4	未	未	*[0]	未	未	[30]	未	30
✓	学生 太郎 5	user5	110	未	未	*[0]	未	未	未	未	0
✓	学生 太郎 6	user6	1	未	未	未	未	未	未	未	0
✓	学生 太郎 7	user7	121	未	未	*[0]	未	未	未	未	0
✓	学生 太郎 8	user8	12	未	未	*[0]	未	未	未	未	0
受講者の平均得点/配点				0/150	-/150	0/10	5/12	0/20	63.8/100	-/100	68.8/542
全体の最大得点/最小得点				0/0	-/-	0/0	10/0	0/0	90/0	-/-	-

## 7-2.コースや教材の進捗状況確認

### コースの利用状況確認手順

1. コースメニューから【コース管理】→【利用状況集計】を選択
2. 集計期間を確認して【表示】をクリック

### 教材全体の進捗状況確認手順

1. コースメニューから【成績】→【進捗状況一覧】を選択
- 進捗状況の見方
    - ・ 未：閲覧していない、もしくは実行していない
    - ・ [数値]：閲覧、もしくは実行した回数
    - ・ 表の操作については、7-1の「知っていると便利な機能」を参照
  - 進捗状況のダウンロード
    - ・ 【この表をダウンロード】をクリック

### 教材個別の利用状況確認手順

1. 確認したい教材の【…】から【公開状況】を選択
- 【利用状況】から利用者別の利用回数や利用時間、最終利用日を確認可能
  - 【学習履歴】から教材へのアクセス情報を確認可能
    - ・ アクセス先のIPアドレス
    - ・ 開始時間/終了時間/利用時間
    - ・ 終了時間は利用者の操作方法によって不正確な場合もある
  - 学習履歴は削除が可能
    - ・ その課題を実行していないことにできる
    - ・ 実行回数を制限している課題で削除が必要になる場合がある
    - ・ 通常、学習履歴は削除しない（成績が消えてしまう）

## 8-1. 定期試験の結果をWebClassで伝える

### WebClassにない課題の成績を学生に伝える方法

1. レポート課題をひとつ作成
2. 採点画面を表示
3. 【未提出者を表示】ボタンをクリック
  - 誰も提出していないので受講生全員のリストが表示される
4. 【一括でブランクレコードを生成】ボタンをクリック
  - 全員がレポートを提出した状態になり、採点の点数を入力できるようになる
  - 個別でブランクレコードを作成することもできる
5. 採点結果を入力
  - 個別で入力したり、Excelを利用して点数を登録

### ブランクレコードの応用

- 未提出者に再提出機能を使える
  - 未提出者だけ締め切りを個別に少し延ばしてあげることができる
  - コメントもつけることができる

レポート/記述式問題の採点

記述式のシンプルなレポート(ループリック)

レポート採点 未提出者

検索条件

コース レポート採点画面評価

ユーザ ☒ 登録ユーザのみ ☐ 管理者を含む

再読み込み

対象件数77件

ダウンロード▼ 一括でブランクレコードを生成

[ブランクレコードを生成]をクリックすると、空の成績レコードが生成されることで、未提出のユーザに対してもレポートの代理提出やコメント、採点ができます。

Mail	氏名	ユーザID	
<input checked="" type="checkbox"/>	須藤 智司	ST0A033	ブランクレコードを生成
<input checked="" type="checkbox"/>	隅田 和樹	ST0A034	ブランクレコードを生成
<input checked="" type="checkbox"/>	嘉数 篤史	ST0A035	ブランクレコードを生成

## 8-2. 集まったレポートの回答を学生に見せる

### レポートの点数や回答の一覧の表示

- 「レポート/記述問題の採点」を開き、レポート課題を選択
- 【再読み込み】をクリック
- 【レポート一覧を開く】をクリック。

レポート課題1

データの読み込み  
レポート採点画面評価 ☒ 登録ユーザのみ ☐ 管理者を含む ☐ ゲストを含む  
再読み込み

絞り込み条件  
条件の変更 並び順: ユーザID 昇

結果 10 件 (2023-05-30 10:02:05)

メッセージ

<input type="checkbox"/>	氏名	ユーザID	設問	提出日時	成績	得点	合計点	再提出指示
<input type="checkbox"/>	田中 和弘	ST0A001	Q.1	2023-03-22 11:54:16	○	7	7	

wikipedia が誰でもアクセスできることは、何かに興味を持った全ての人が直ぐに読んで知ることができる点で、よいことだと思います。  
例えば「ジェットエンジン」など、技術的な事項を数式や画像を用いて解説しているページも多数あり、細かく知ることができます。  
ただし、記述内容は常に正しいとは限らず、内容に責任を負う特定の著者がいるわけではないため、引用などを確認しながら特に批判的に読む必要があると思います。  
そのためには前提知識が求められることもあり、したがってアクセスが容易である事と、活かすことが容易かどうかは別問題と思います。  
なので、学ぶきっかけや最初の一步のハードルを下げてくれるツールとして有益と思います。

コメント

<input type="checkbox"/>	山田 功	ST0A002	Q.1	2023-03-22 11:54:17	未	0	0 (未)	
--------------------------	------	---------	-----	---------------------	---	---	-------	--

Wikipediaがフリーで公開されていることは、学習環境に多くの影響を与えています。以下にいくつかの影響を挙げます。

1. アクセス可能性の向上  
Wikipediaがフリーで公開されていることにより、学習者は世界中の情報にアクセスすることができます。このため、学習者は自分の興味やニーズに合わせて多様な情報源を利用することができます。

### スクリーン共有で学生に見せる

- 【条件の変更】をクリックし、設定フォームを開く
- 「表示する項目」の【氏名】【ユーザID】【コメント】のチェックを外す
- 「表示形式」の【1行表示】にチェック
- 学生の名前やIDを伏せた解答のリストとして表示される。



レポート課題1

データの読み込み  
レポート採点画面評価 ☒ 登録ユーザのみ ☐ 管理者を含む ☐ ゲストを含む  
再読み込み

絞り込み条件  
条件の変更 並び順: ユーザID 昇

結果 10 件 (2023-05-30 10:02:05)

メッセージ

☐ レポート

☐

wikipedia が誰でもアクセスできることは、何かに興味を持った全ての人が直ぐに読んで知ることができる点で、よいことだと思います。  
例えば「ジェットエンジン」など、技術的な事項を数式や画像を用いて解説しているページも多数あり、細かく知ることができます。  
ただし、記述内容は常に正しいとは限らず、内容に責任を負う特定の著者がいるわけではないため、引用などを確認しながら特に批判的に読む必要があると思います。  
そのためには前提知識が求められることもあり、したがってアクセスが容易である事と、活かすことが容易かどうかは別問題と思います。  
なので、学ぶきっかけや最初の一步のハードルを下げてくれるツールとして有益と思います。

☐

Wikipediaがフリーで公開されていることは、学習環境に多くの影響を与えています。以下にいくつかの影響を挙げます。

1. アクセス可能性の向上  
Wikipediaがフリーで公開されていることにより、学習者は世界中の情報にアクセスすることができます。このため、学習者は自分の興味やニーズに合わせて多様な情報源を利用することができます。

# 付録A. ラベルの使い方

- 教材のグループ管理に利用可能
  - ・ 増える教材の管理に有用
- 教材ごとに1つ指定
- ラベルの作成
  - ・ 教材の作成画面にある「ラベル」入力欄に適切なものを入力

第1回目の授業		ラベル	...
<input checked="" type="checkbox"/> ● <a href="#">英単語テスト</a>	更新 8ヵ月前 <a href="#">実行者数 1</a>	...	...
<input type="checkbox"/> 自習 利用可能期間 2019/12/19 12:00 - 2019/12/21 12:00			
<input checked="" type="checkbox"/> ● <a href="#">英単語テスト (3級、準2級、2級)</a>	更新 8ヵ月前 <a href="#">実行者数 0</a>	...	...
<input type="checkbox"/> 自習 利用可能期間 2019/12/19 12:00 - 2019/12/21 12:00			
<input checked="" type="checkbox"/> ● <a href="#">剽窃検知確認用レポート</a>	更新 8ヵ月前 <a href="#">実行者数 7</a> <a href="#">未採点の答案 7</a>	...	...
<input type="checkbox"/> レポート 利用可能期間 2019/12/19 12:00 - 2019/12/21 12:00			

同じラベルを設定した教材が  
グループとして表示される

- ラベルの変更・編集
  - ・ ウィンドウ右端の【教材の並び替え/ラベルの設定】リンクから変更可能

## 教材並び替え/ラベル設定

ドラッグ&ドロップか [ソート] ボタンで教材を並び替えることができます。ラベルを設定したい場合は、[新しいラベル] をクリックしてラベルを追加後、教材をラベルにドラッグしてください。変更後は変更内容を保存してください。

変更内容を保存する

取り消し

新しいラベル

ラベル修正

ラベル削除

ITソート

### ▼ 第1回目の授業

- 英単語テスト 更新 2019-12-20 12:53:01
- 英単語テスト (3級、準2級、2級) 更新 2019-12-20 12:53:01
- 剽窃検知確認用レポート 更新 2019-12-20 12:53:01

### ▶ 第2回目の授業

### ▶ 第3回目の授業

### ▶ INFOSS情報倫理

### ▶ 教職員のための情報倫理

- 複数ファイルの配布 更新 2020-09-06 12:01:01
- チャット (09/06 16:02) 更新 2020-09-06 16:02:22
- アンケート (09/06 16:19) 更新 2020-09-06 17:05:22
- アンケート (09/06 16:51) 更新 2020-09-06 16:52:00

- ・ アイコンのドラッグ&ドロップで順序変更可能
- ・ ラベルを選択すると、[ラベル修正]ボタンからテキストの変更可能
- ・ 順序やラベルテキストを変更した場合は、変更を確定するために、【変更内容を保存する】ボタンを最後にクリック

# 付録B.教材の閲覧履歴や実行状況を確認する

## ● タイムラインから

1. 教材の枠外もしくは【V】をクリック
2. 詳細な状況は【情報】ボタンをクリック

タイムライン

クリッカーアンケート を公開

実行 情報 集計結果

利用中の学生数	0
学生の履歴	3

DPJ保守用コース管理者:2020/07/15 14:10 削除

利用状況の概数は  
ここでも確認可能

## ● 教材一覧画面から

1. 【…】メニューから【公開状況】を選択

New

● チャット (09/06 16:02)

チャット

更新 1時間前  
実行者数 2

設定  
公開状況  
公開/非公開設定  
コピー

New

● アンケート (09/06 16:19)

アンケート

公開状況 利用状況 学習履歴 講評

ユーザID  ID指定ツール

ワイルドカード '\*', 任意の一文字 '?' で指定。  
複数の条件は or で連結。

検索

集計期間 2020年 4月 1日 から  
2020年 9月 6日 まで

集計期間 : 2020-04-01から2020-09-06まで の学習履歴

» 学習履歴のダウンロード

選択された履歴を削除

	氏名 ▲▼	ユーザID ▲▼	出席番号 ▲▼	IPアドレス ▲▼ ホスト名	開始時刻 ▲▼	終了時刻 ▲▼	利用時間 ▲▼
<input type="checkbox"/>	学生 太郎 2	user2	3	192.168.41.1	2020-09-06 16:09:42		00:00:00
<input type="checkbox"/>	学生 太郎 1	user1	2	192.168.41.1	2020-09-06 16:04:18		00:00:00
<input type="checkbox"/>	鈴木 先生	author	1	192.168.41.1	2020-09-06 16:02:34	2020-09-06 16:18:40	00:16:06

【利用状況】や【学習履歴】のタブから学生  
ごとの利用回数やアクセス状況を確認できる



## 資料やレポート課題などの基本設定

- **ラベル** 教材を管理するためのラベル
- **タイトル** 教材の名前
- **Newマーク** チェックを入れると、教材を公開したときに教材一覧に[New]が表示される
- **アクセス制限** 学生にこの教材を見せるかどうかの設定
  - 「教材一覧で表示する」 教材を作成すると学生にも即伝わる
  - 「教材一覧で非表示にする」 アクセス制限を「表示する」に変えるまで学生は教材があると分からない
  - 「ゲストユーザーにも公開」 コースに登録されている学生以外も教材が公開される
- **説明/注意点** 教材を「実行」する前に教材の説明として表示される文章

## アクセス制限の利用方法

- 教材の存在を学生に知られたくない場合は、「非表示」にして教材の作成をはじめめる
- 教材の公開は「基本設定」の変更か、タイムラインから「既存教材の公開」で行う

基本設定

ラベル ?	<input type="text"/>
(必須) タイトル ?	アンケート (09/06 16:51)
'New'マーク ?	<input checked="" type="checkbox"/>
(必須) 種別 ?	アンケート(記名式) ▼
アクセス制限 ?	<div>✓ 教材一覧で表示する 教材一覧で非表示にする ゲストユーザーへも公開する</div>
説明/注意点 ?	<input type="text"/>

### タイムラインでの「既存教材の公開」手順

- **【簡易教材作成ボタン】** をクリック
- **【教材の作成】** タブから **【既存の教材を公開】** を選択
- 公開する教材にチェックマークをつける
- **【教材の公開】** ボタンをクリック

# 付録D.教材実行時の制限

## ● 日時制限

- ・ 学生が教材を実行開始できる期間を設定

## ● 実行回数の制限

- ・ 学生が教材を実行できる回数を設定
- ・ 1回にするとネットワークトラブルや停電などの学生に起因しない原因で教材が使えなくなることがあるので注意が必要

## ● 制限時間

- ・ 学生が1回の実行で教材に取り組むことができる時間を設定

## ● 実行パスワード

- ・ 設定したパスワードを知らない学生は教材の実行ができない
- ・ 出席している学生にだけパスワードを教えて教材を利用させるといった使い方が可能

[ ] 教材実行時の制限

日時制限 ? ☐ する ☒ しない

2020年 9月 6日 18時 5分 から  
2020年 9月 6日 18時 5分 まで

実行回数の制限 ? ☐ 回

制限時間 ? ☐ 分

利用できるグループを限定する ?

利用できるメンバーを限定する ?

※ テスト/アンケートを実施できるメンバーのユーザIDをカンマ(,)で区切って入力してください。  
※ ワイルドカード \* 任意の文字? で指定  
※ サンプルCSVファイルのダウンロード

IPアドレス制限 ?  [※ IPアドレス指定ツール](#)  
※ 例 192.168.1.\*, 192.168.2.\*

実行パスワード ?

教材を実行できる日付を指定

# 付録E.教材の設定や内容を後から変更(教材のタイムライン公開)

## 設定や内容を変更したい対場合

1. 教材一覧の【…】メニューから【設定】もしくは【設問編集】を選択
2. 【設定】
  - 教材の基本設定や実行時の制限を変更可能
3. 【設問編集】
  - 教材の内容を変更可能

## 教材一覧にしかない教材をタイムラインに表示させたい場合

1. 【簡易教材作成】ボタンをクリック
2. 【教材の作成】を選択
3. 【既存の教材を公開】を選択
4. タイムラインに表示させたい課題を選択して【教材の公開】をクリック



第2回目の授業

New  
● レポート課題 (サンプル)  
□ レポート  
利用可能期間 2021/02/15 12:00 - 2021/02/20 12:00

New  
● 英単語テスト音声付き  
□ 自習  
利用可能期間 2021/02/19 12:00 - 2021/02/21 12:00

第3回目の授業

New  
● 6月25日の資料  
□ 資料

更新 3分前  
実行者数 1  
未採点の答案 1

設定  
設問編集  
公開状況

公開/非公開設定  
コピー  
エクスポート  
別コースにリンク  
別コースにコピー  
削除

タイムライン

学生の書き込みを許可  
ON

書き込み 教材の作成

レポート課題を作成  
簡易テストを作成  
簡易アンケートを作成  
チャットを作成  
簡易資料を作成  
既存の教材を公開

非公開にしていた教材をタイムラインに公開すると自動的に公開状態になる

## 別のコースにコピー(テスト・レポート)

1. 教材一覧でコピーしたい教材のチェック欄にチェックマークをつける
2. ウィンドウ右に【別コースにコピー】リンクが表示されるのでクリック
3. プルダウンメニューからコピーしたいコースを選んで【別コースにコピー】をクリック

第1回目の授業

● 英単語テスト

☒ 自習  
利用可能期間 2019/12/19 12:00 - 2019/12/21 12:00

更新 8ヵ月前  
実行者数 1

● 英単語テスト (3級、準2級、2級)

☐ 自習  
利用可能期間 2019/12/19 12:00 - 2019/12/21 12:00

更新 8ヵ月前  
実行者数 0

● 剽竊検知確認用レポート

☒ レポート  
利用可能期間 2019/12/19 12:00 - 2019/12/21 12:00

更新 8ヵ月前  
実行者数 7  
未採点の答案 7

教材を作成する

2件の教材を選択しています

公開/非公開設定

コピー

エクスポート

別コースにリンク

別コースにコピー

削除

### 「コピーとリンクの違い」

- ・ コピーはコピー元の複製を作る
- ・ リンクは複製は作らない

リンクで作成すると教材の容量を抑えることができる反面、リンク先で内容を編集することができなくなる

## 別のコースにリンク(資料)

1. 教材一覧でコピーしたい教材のチェック欄にチェックマークをつける
2. ウィンドウ右に【別コースにリンク】リンクが表示されるのでクリック
3. プルダウンメニューからリンクしたいコースを選んで【別コースにリンク】をクリック

別コースにリンク

これらの教材を他のコースから利用できるようにリンクを作成します。リンクするコース名を選択してください。複数のコースを選択する場合はCtrlキーを押しながらクリックしてください。

2020  
講義AAA  
講義BBB  
2019  
ご説明用コース

「プルダウンメニュー」をクリックするとコピーできるコースの一覧が表示される

別コースにリンク

閉じる

## アンケートやテストの挙動を制御

- ページ設定
  - ・ 【複数ページ】は回答者が設問を切り替える形式
  - ・ 【単一ページ】は設問が1ページに表示される形式
- 選択肢の並べ替え
  - ・ 【する】にすると、回答/解答時に選択形式問題の選択肢がランダムに並べ変わる
- ランダム出題
  - ・ 【する】にすると、設問の出題順がランダムになる
  - ・ 用意した設問からランダムに選択して出題したい場合は、「全問題の中から\_\_問を抽出」の空欄に数値を入力
- 前の問題に戻れないように設定
  - ・ 【する】にすると、設問が複数ページで設定されているときに、一度回答/解答したらその問題には戻れなくなる

## ページ設定【単一ページ】の表示例

設問 1 次の中で相関係数をもとに分析を行なっている手法はどれか、適切なものを選択して下さい。

1. ☐ 母平均の差の検定
2. ☐ 適合度検定
3. ☐ 因子分析
4. ☐ 分散分析

設問 2 次の文章の空欄 (1) から (3) に当てはまる用語をリストの中から選択しなさい。

記述統計量としてよく用いられる平均値は変数の (1) を表す指標である。これに対して、中央値は変数の (2) を表している。  
平均値と中央値は一致していることが分布上は望ましいが、ずれている場合、(3) を参考にするこ  
とで分布に偏りがあるかどうか検討することができる。

- (1)
- (2)
- (3)

設問 3 和風月名と対応する現在の暦の月を選択して下さい。

- (1) 睦月 >
- (2) 葉月 >
- (3) 長月 >
- (4) 師走 >

設問 4 和風月名と対応する現在の暦の月を選択して下さい。

	1. 9 月	2. 8 月	3. 12 月	4. 1 月
睦月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
葉月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
長月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
師走	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

設問 5 次の問いに答えなさい。

- (1) 記述統計量の中で代表値として最もよく用いられる指標を答えなさい。
- (2) 分散の値が16のとき、標準偏差の値はいくらか、数値を答えなさい。

(1)

(2)

終了

## アンケートやテストの結果に関する設定

- 合格点の設定
  - ・ 自動採点後に合格点に応じたメッセージが表示される
- 回答の見直しを許可
  - ・ 「する」にすると課題実行期間中に提出した課題の上書きができる
  - ・ レポート課題はデフォルトで【する】
- 正答/解説を表示する問題
  - ・ 「正解した問題のみ」にすると間違えた問題の解説は表示されない。
  - ・ レポートや自由記述問題は採点されるまで解説は表示されない。

## アンケート機能での「見直し許可」

- 一人の回答者が複数回回答した場合に回答結果の処理が変わる
- 見直し許可【する】
  - ・ ひとりの回答者が複数回回答しても回答データとしては最新のものが採用
- 見直し許可【しない】
  - ・ 複数回の回答を別データとして採用
- アンケート機能のデフォルトは【しない】
  - ・ 集計結果の総数が受講学生数より多くなることもある

[1] 採点・結果表示

合格点の設定 ?  点

回答の見直しを許可 ? ☐ する ☒ しない

正答/解説を表示する問題 ? ☒ 正解した問題のみ ☐ 全ての問題

回答の見直しを許可「する」と回答は上書きされ、履歴は一つになる。

© 2022 DATA PACIFIC (JAPAN) LTD.

本書の一部または全部を事前に承諾を得ることなく複製および転載することを禁じます。本書に記載されたその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

本マニュアルは追手門学院大学 経営学部原田章先生ならびに経済学部朽尾真一先生に監修いただきました。